

第 2 回サマーセミナー

会議報告

「音響学の基礎と最近のトピックス」*

山崎芳男 (早稲田大学理工学総合研究センター)**・伊藤元邦 (神戸大学)***

去る7月20日(火)~22日(木)に長野県白馬村のシエラリゾート白馬において日本音響学会第2回サマーセミナー「音響学の基礎と最近のトピックス」を開催した。参加人員は74名(内学生67名)。

第1日目(7月20日)は午後1時に現地集合し,2時から上羽貞行(東工大)「超音波の概論と最近のトピックス」,3時半からは森本政之(神戸大)「音の方向定位について」と鈴木陽一(東北大)「健聴・難聴とデジタル補聴」,夕食後7時から子安 勝(千葉工大)「騒音」の講義が行われた。質疑応答に続いて講師を囲んで懇親会が開かれた。

第2日目(7月21日)は9時から桑野園子(大阪大)「聴覚の時間的要因」,10時半から橘0秀樹に代わり,坂本慎一,上野佳奈子(東大生研)から「ホールの形と音」の講義があった。昼食後2時から音楽音響関連の吉川 茂(九州芸工大)「エアリード楽器におけるジェットエンジン相互作用一渦の発生に着目して」,3時半から東山三樹夫(工学院大)「音響事象記述言語の構築」の講義があり,夕食後7時から三井田淳郎(千葉工大)「マルチメディアによる音響工学教育」の音響教育の話があった。引き続き質疑応答を兼ね講師を囲んで懇親会が開かれた。

第3日目(7月22日)は9時から大川茂樹(千葉工大)「夢ではなくなるコンピュータとの会話」,10時半から浜田晴夫(東京電機大)「アクティブコントロール技術とは」,山崎芳男(早大理工総研・千葉工大)「高忠実度オーディオ記録・再生」のデモンストレーションを使った講義があった。

昨年の9月から今年は7月の開催としたが,アンケート結果によると時期,講義内容,参加費用を含めおおむね好評であった。昨年行った2日日午後のスポーツを行わなかったが次回はぜひスポーツをという声も強かった。来年以降もぜひ続けていきたい。(山崎芳男)

第2回サマーセミナーに参加して

私が聴覚に関する勉強を始めたのは今春からのことであり,音響学という学問の全体的な知識はほとんどなかったのだが,今回セミナーの案内を見て,その扱う分野の幅広さに興味を持ち,参加することを決意した。

講義については,超音波や音楽音響等に関する最新の研究結果から,マルチメディアを駆使した教育方法,更には信号処理の基礎的な授業まで,実に様々な内容が盛り込まれており,どの講義も興味を持って聴くことができた。

しかし,これだけ盛りだくさんの内容を聴講するためには,2泊3日という日程がやや短く感じられた。私自身も,初めのうちはまだ元気があったのだが,後半へ行くにしたがって消化不良気味になり,3日目に至っては起きているのが精一杯という状態であった(二日酔いだったことも原因だろう)。企業から参加される方には差し障りがあるかもしれないが,学生にとっては夏休み中でもあるので,もう一日増やして余裕のある講義日程にしていただけるとありがたい。また,昨年はあったというスポーツの時間を復活させ,気分一換を図るのもよいのではないだろうか。

セミナーには各地の大学・企業の方が多数参加されており,懇親会等を通じて交流が深まった。

羽先生が講義の中で「友達は力」と仰ったとおり,同じ音響という研究分野に携わる友人を多く乍らすることができたのは,大変貴重なことだと思う。今後もこのようなセミナーが開催されれば,ぜひ参加したい。(伊藤元邦)

* The Second ASJ Summer Seminar "Fundamentals of Acoustics and Current Topics."

** Yoshio Yamasaki (Waseda University, Tokyo, 169-0072)

*** Motokuni Itoh (Graduate School of Science and Technology, Kobe University, Kobe, 657-8501)